

加藤こうゆう 通信



「安心・元気・希望」共に創ろう、新たな鈴鹿の未来に向けて!

発行 全国本田労働組合連合会 三重地方協議会 [責任者] 片山 智成
〒510-0847 三重県鈴鹿市平田町1907 本田技研労働組合 鈴鹿支部内 TEL.059-378-0339

謹んで新春のお慶び申し上げます。

組合員の皆様のご家族ともども清々しく新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より組合活動ならびに常任顧問の活動に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。昨年は、はじめての議会登壇、令和6年度自動車関係諸税の見直しに関する請願を紹介議員として本会議に提出し、全会一致で可決され、国の関係機関への意見書を提出することができました。

本年におきましても、令和8年度の税制改正大綱に向けて、引き続き自動車関係諸税の見直しに取り組んでまいります。また、皆様方とのつながりを強固に地域課題の解決、政策実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、どうか皆様方のご理解並びにご協力賜りますことをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。引き続きのご指導、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

加藤 公友

令和5年9月定例議会

一般質問に登壇!!



質問する加藤議員



はじめての一般質問で、とても緊張しました。質問をすることで、鈴鹿市の取り組みを深く理解することができました。また、市民サービスの向上につながる提案もさせていただきました。今後も皆さんの声を市政に届け、困りごとの解決、地域課題の解決に向け積極的に取り組んでまいります。

SNSやってます!



Facebook



Instagram



X (twitter)

01 生成AIの導入について

答弁

チャットGPTなどの生成AIは文章作成の作業性向上や膨大な情報量の分析など導入による効果が期待できることから、他自治体の活用事例や活用することの効果、それに伴うリスクをしっかりと検証し、業務効率化や市民サービスの向上につながる活用方法を検討していく。

02 公民連携のまちづくりに向けて

答弁

本市は令和5年1月より民間企業からの提案を受け付ける窓口、公民連携総合対話窓口(Co-Cre8 Suzuka)を開設した。窓口の開設により新たな民間主導の公民連携と従来からの行政主導の公民連携の最適な手法を選択できるようになり、市民サービスの向上や業務効率化などの課題解決に向けた取り組みを推進していく。

03 自転車利用者のヘルメット着用について

答弁

本年4月に自転車利用者のヘルメット着用の努力義務が施行された。しかしながら、ヘルメット着用を定着させるためには継続した啓発活動が必要である。引き続き、市のホームページを活用した注意喚起や、交通事故発生時のSNSによる情報発信、街頭活動などの啓発活動を実施していく。

定例議会の詳細はYouTubeで配信されている『令和5年9月定例議会』をご確認ください。



「令和6年度自動車関係諸税の簡素化、負担軽減を求める」請願が本会議にて可決!

自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求め、
る請願書を鈴鹿市議会へ提出

要望事項

自動車に係る税の負担軽減を図る

1. 車体課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減を図る
 - ① 自動車重量税は廃止を前提に、まずは「当分の間税率」を廃止
 - ② 自動車税・軽自動車税(環境性能割)は廃止を前提に、まずは「被けん引車」を課税対象外とする
 - ③ 自動車税・軽自動車税(種別割/四輪車・二輪車等)の税額引き下げによる負担軽減措置を講ずる
 - ④ 複雑な車体課税を簡素化
2. 燃料課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減を図る
 - ① 「当分の間税率」を廃止
 - ② 複雑な燃料課税を簡素化
 - ③ タックス・オン・タックスを解消
3. 自動車関係諸税の国税部分について、地方への移譲等を伴う負担軽減策を講じ、地方税収へ影響を与えないユーザー負担軽減を目指す

税目に対する用途を明確化する

1. 車体課税は、次世代モビリティ(CASE)普及促進特定財源化
2. 燃料課税は、カーボンニュートラル促進特定財源化

自動車の使用に係るユーザー負担の軽減を図る

1. 自動車保険(任意保険)の所得控除対象化
2. 高速道路料金の引き下げ

請願書作成
(自動車総連)

市議会へ請願を提出

8/30水



総務委員会にて
紹介議員として説明・審議

9/14木

全会一致で可決



9/26火

本会議で採決

全会一致で可決



国の関係機関へ
意見書を提出



POINT

抜本的な見直しが予想される
令和8年(2026年)税制大綱に向けて

税制自体の枠組みや、課税のあり方については早期に検討が開始されるため、これからの議論が大変重要になります。道路利用の受益と負担の関係など、中長期的な自動車関係諸税のあり方についての主張を強めていくことや複雑かつ過重で不条理な自動車税制の解消を前提に、自動車関係諸税が経済成長の足かせとならないよう、簡素化・ユーザー負担軽減に向けた抜本改革を求めています。

加藤こうゆう 活動記録

10.8

ホンダオートボディー労組 懇談会

こんなことを話しました
鈴鹿市の困りごとについて
(交通渋滞、道路整備など)



10.28

国民民主党
三重県連 政経セミナー



セミナー内容
日本経済と今後の見通し、
国民民主党の取り組み

11.11

自動車総連 三重地協
ナイスハート・
ふれあいスポーツ広場



組織内議員として挨拶
ボランティアスタッフとして参加

12.14 鈴鹿市議会請願

玉垣保育所と幼稚園の
幼保一元化施設の基本計画
及び候補地見直しを求める請願



地域福祉委員会・本会議
全会一致で可決

12.25 全本田労連 三重地協 幹事会



活動報告
自動車関係諸税の取り組み、
市議会・常任委員会の取り組みについて

12.27

自動車総連
三重地協 幹事会

